

部活動の活動方針

千葉県立鎌ヶ谷西高等学校

校長名 代崎 晶子

教育目標	<p>【学校教育目標】</p> <ol style="list-style-type: none">1 知性の向上につとめ、創造的な学習態度を養う。2 豊かな情操を培い、人間形成への基調とする。3 謙虚にして誠実な人格を志し、社会性を身につける。4 たくましい体力と、困難にくじけない強固な意志を培う。 <p>【部活動の教育的意義】</p> <p>生徒の自主的、自発的な参加による部活動は、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、好ましい人間関係の構築を図ったり、自己肯定感を高めたりするなど、部活動は多様な学び場として、また生徒観察を通じた生徒の状況理解の場として教育的意義が高い。</p>
部活動の基本方針	<p>①適切な指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none">●生徒の心身の健康管理や事故防止に万全を尽くすとともに、体罰やハラスメントの根絶を徹底する。●生徒とのコミュニケーションを十分に図り、生徒がバーンアウトすることなく活動を続けていけるよう留意する。●分野の特性等を踏まえた合理的でかつ効率的・効果的なトレーニングの積極的な導入等により、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を行うよう努力する。 <p>②適切な活動時間と休養日の設定</p> <ul style="list-style-type: none">●活動時間は、原則平日を3時間程度、週末(土曜日及び日曜日)を4時間程度とする。これを超えて活動する場合は、その前後の活動時間を短縮すること等によって、過度にならないよう留意する。●学期中は平日に1日以上、週末に1日以上少なくとも週当たり2日以上休養日を設けることを基準とする。週末に大会等に参加した場合は、他の日に休養日を振り替える。●長期休業中は、学期の休養日の設定に準じた扱いとする。ただし、生徒が十分な休養を取ることができるよう、まとまった休養期間を設ける。 <p>③その他留意する事項</p> <ul style="list-style-type: none">●各顧問は、教育目標や方針に沿った活動計画を立てるとともに、月毎の活動計画とその活動実績を記録する。●部活動を運営するに当たり年度当初の保護者会だけでなく、顧問の考えを伝える場を機会あるごとに設け、保護者の協力を得られるよう、保護者との連携を強化するよう努力する。●けがや事故を防ぐために最善の注意を払うとともに、近年の温暖化による熱中症への対策については、十分な知識と正確な対応を身につけるよう努力する。また、施設・設備の安全点検を定期的に行い、安全管理に万全を期す。●けが人や病人、また不測の事態に備え、校内の緊急体制を整備し、けが人や病人の発生から手当てや管理職への報告、医療機関や保護者への連絡など職員間の共通理解を図る。●部活動における教育的効果をさらに高めるために意見交換や情報共有の場として部活動顧問会議を設置し年数回開催する。